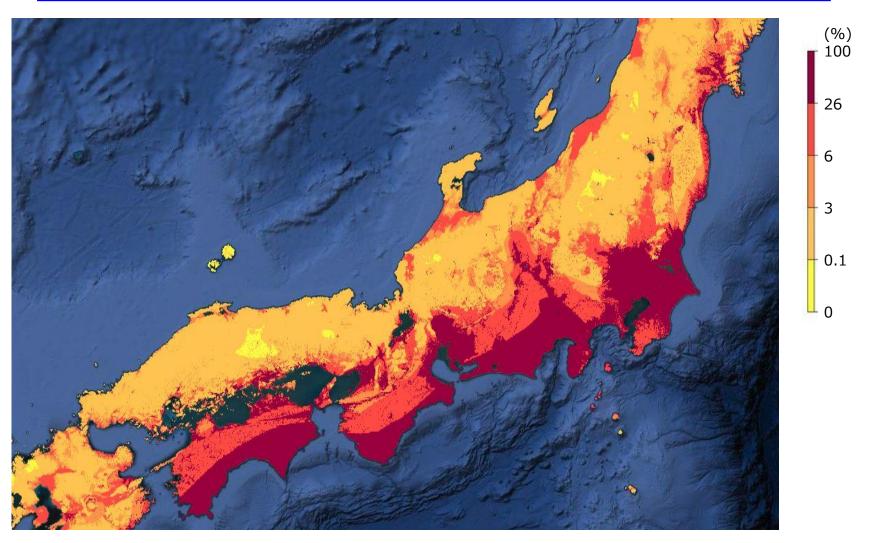
福島セルファクトリー GMP準拠細胞保管受託サービス

- ◆ 保管施設の安全性
 - ・立地
 - ・建屋
 - ・施設のセキュリティと電源喪失時の対応
 - ・保管システムと検体管理システム

全国地震動予測地図2018年版



今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率の分布



関東以西の太平洋沿岸部は大規模震災に見舞われる確率が高い

立地の安全性①



▶標高

- ・標高190mのなだらかな丘陵地
- ・地滑りや水害の恐れがない

≻強固な地盤

- ・堆積層が9mと少ない
- ・揺れにくく地震に強い

▶ 低い震災リスク

- ・今後30年間に震度6弱以上の揺れが 発生する確率は1.6%
- ・関西〜関東圏に比べてかなり低い

	福島県立医大	神戸	大阪	名古屋	東京
標高 (m)	190	2	1	2	3
震度5弱以上の確率 (%)	74.2	97.0	98.9	99.8	99.9
震度6弱以上の確率 (%)	1.6	37.5	62.1	87.0	23.8
微地形区分	火山性丘陵	埋立地	三角州・ 海岸低地	後背湿地	砂州· 砂礫州
表層地盤の揺れ難さ	Α	D	E	E	С
深部地盤:堆積層の厚さ	Α	D	D	С	D
深部地盤:岩盤の深さ	Α	С	С	В	E

立地の安全性②

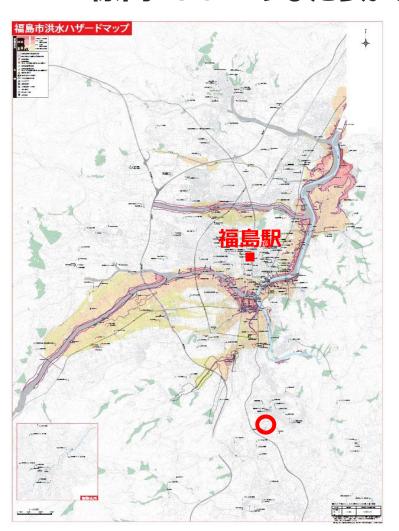


		福島県立医大	神戸	大阪	名古屋
① 標高(n	n)	190	2	1	2
② 震度5弱	以上の確率 (%)	74.2	97.0	98.9	99.8
③ 震度6弱	以上の確率 (%)	1.6	37.5	62.1	87.0
④ 微地形区	区分	火山性丘陵	埋立地	三角州·海岸低地	後背湿地
5 表層地盤	盤の揺れ難さ	Α	D	E	E
⑥ 深部地盤	盤:堆積層の厚さ	Α	D	D	С
⑦ 深部地盤	盤:岩盤の深さ	Α	С	С	В
	岡崎	川崎	東京	木更津	つくば゛
1	20	2	3	84	23
2	98.1	100.0	99.9	98.6	100.0
3	59.7	68.4	23.8	9.5	39.2
4	砂礫質台地	干拓地	砂州・砂礫州	丘陵	ローム台地
5	Α	E	С	В	D
6	Α	D	D	D	В
7	Α	D	E	E	В

立地の安全性 [洪水・土砂災害]



- > 洪水・土砂災害リスクが低い
 - ・標高190mのなだらかな丘陵地で地滑りや水害の恐れがない





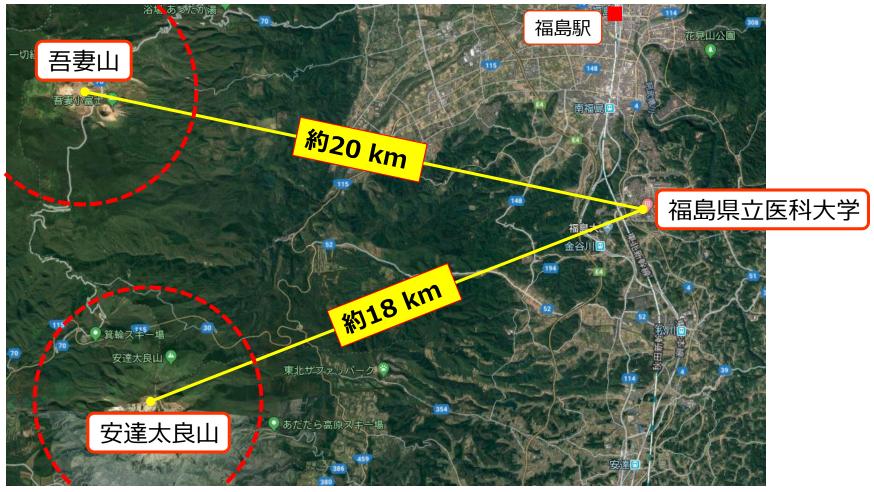
土砂災害ハザードマップ(2017年)

○: 福島県立医科大学

立地の安全性[火山]



- ▶ 火山の噴火による噴石の影響は低い
 - ・吾妻山と安達太良山からは十分に距離が離れている
 - ・噴石の影響はない

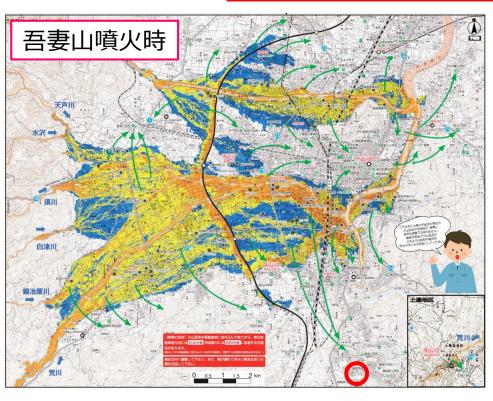


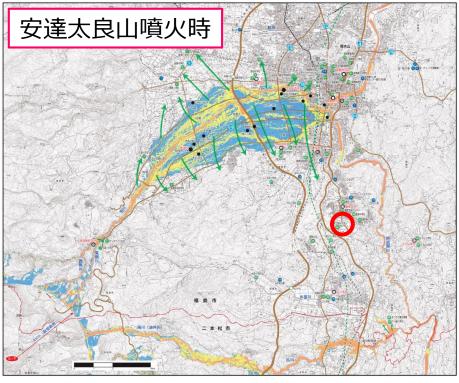
立地の安全性[火山泥流]



- > 火山泥流の影響は低い
 - ・冬季の火山噴火に伴う融雪による火山泥流の可能性は低い

融雪による火山泥流ハザードマップ





○: 福島県立医科大学

建屋の耐震安全性①



- テ最高水準の耐震安全性
 - ・2016年竣工
 - ・官庁施設に求められる耐震性能として最高水準をクリア

国土交通省 耐震安全性の目標及び分類の一覧①

部位	分類	耐震安全性の目標
	I類	◆構造体の補修を要しない ◆人命の安全確保と十分な機能確保
構造体	II類	◆ 構造体の大きな補修を要しない◆ 人命の安全確保と機能確保
II <mark>I</mark> 類		◆ 部分的な損傷は生じるが、建築物全体の耐力が著しく 低下しない◆ 人命の安全確保

建屋の耐震安全性②



国土交通省 耐震安全性の目標及び分類の一覧②

部位	分類	耐震安全性の目標
建築非 構造部材	A類	◆災害応急対策活動や危険物管理の 支障となる損傷がない◆人命の安全確保と十分な機能確保
	B類	◆ 人命の安全確保と二次災害の防止が確保
建築設備	甲類	◆大きな補修なく設備機能を相当期間 継続できる◆人命の安全確保と二次災害の防止
_	乙類	◆ 人命の安全確保と二次災害の防止 9

福島セルファクトリーがご提供する細胞保管の特徴



GMP施設での保管を単独で行う施設はほとんどない

* 当施設は2019年6月26日に医薬品製造業許可(生物学的製剤)を取得済み

GMP施設で管理



立地

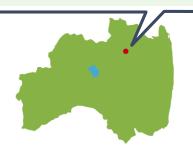
- ✓ 分散保管場所として都合が良い距離
 - (100-150 km以上離れた場所が良い)
 - ※ つくばから約180 km、東京から約230 km、大阪から約560 km
- ✓ 浸水害の恐れが少ない場所に立地

設備·施設

- **✓** GMP施設
- ✓ 医薬品製造業許可(生物)取得
- ✓ 最新の保管・管理システムを活用

技術

- ✓ 保管・管理のノウハウがある
- ✓ 情報管理のノウハウがある
- ※施設管理運営:福島セルファクトリー(株)
- ※GMP 監修: ㈱横浜バイオリサーチアンドサプライ
- ※GMP 対応施設化工事:清水建設㈱
- ※液体窒素保管設備:大陽日酸㈱



「長期的」・「安定的」にセルバンク・ 再生医療等製品の保管が可能

東北地区唯一のGMP保管施設

福島セルファクトリー株式会社のご紹介



会社名: 福島セルファクトリー株式会社

<2020年4月1日に福島県立医科大学発ベンチャーの称号を授与>

会社設立 : 2020年2月27日

本社所在地 : 福島県福島市栄町9番18号

研究所所在地: 福島県福島市光が丘1番地 (福島県立医科大学 災害医学・医療産業棟)

事業内容: 細胞・検体保管, GMP施設の管理・運営, Lト抗体作製, ビアコア測定, FCM解析等の受託解析

細胞·検体保管

- ・医薬品製造用セルバンク
- ・研究用セルバンク
- ·血清·試料等
- ・研細胞培養・ストック作製



免疫評価

- ·ADCC活性
- ·NK細胞活性
- ·LAK細胞活性
- ·各種細胞活性評価

天然上卜抗体

- ・ヒト末梢血リンパ球からの **天然ヒト抗体**の作製
- ・不死化リンパ芽球様 細胞 (LCL) の作製

細胞特性解析

<フローサイトメトリー>

- ・リンパ球サブセット解析
- ・サイトカイン測定
- ·細胞周期解析
- ・アポトーシス解析

お問い合わせ先





メールアドレス WEBサイト

order@f-cell-f.com https://f-cell-f.com/

